

平成31年4月30日

伊勢原市協働事業完了報告書

伊勢原市長 殿

住 所 [REDACTED]
団 体 名 国際ソロプチミスト伊勢原
代表者氏名 会長 都澤 則子 [REDACTED]

平成30年8月31日付けで協働事業採択決定通知を受けた事業が完了しましたので、伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第14条の規定により、関係書類を添えて次のとおり報告します。

1 協働事業の成果

協働事業名	ストップ！ DV 運動
事業費総額	34,818円
事業期間	自 平成30年 8月31日 至 平成31年 3月31日
実施場所	伊勢原市民文化会館 ほか
参加者数	約7,000人
事業実施内容及びその成果	DV 相談窓口のリーフレットを挟み込んだポケットティッシュを作成し、市主催事業の男女共同参画フォーラムや国際ソロプチミスト伊勢原主催の講演会等の参加者に広く配布しPRを行った。 さらに、産能大学、向上高校、中央公民館、市内歯科医院や幼稚園などにポケットティッシュの配架を依頼し、相談窓口のPRを行うことで「DVのないまち・いせはら」の実現に向けた意識啓発の一助となった。

2 添付資料

- (1) 「ストップ！ DV 運動」報告書
- (2) 伊勢原市協働事業収支決算書（第8号様式）
- (3) 協働事業の実施に要した費用の領収書等の写し
- (4) ストップ・DV ポケットティッシュのデザイン
- (5) 事業評価シート

第8号様式（第14条関係）

伊勢原市協働事業収支決算書

協働事業名	ストップ！DV運動
団 体 名	国際ソロプチミスト伊勢原

収入の部

区 分	決 算 額 (円)	内 訳 (数量、単価等)
事業費	(ソロプチ分) 20,012 (市分) 14,806	ストップ！DV運動事業費
収入合計額	34,818	

支出の部

区 分	決 算 額 (円)	内 訳 (数量、単価等)
需用費	(ソロプチ分) 19,742 (市分) 14,806	ラベル印刷ポケットティッシュ 4,000 個 * @4.9356 ラベル印刷ポケットティッシュ 3,000 個 * @4.9356
事務費	(ソロプチ分) 270	振込手数料 (270円)
支出合計額	34,818	

「ストップ！ DV運動」報告書

■ 目 的

内閣府が 2017 年に実施した調査で、女性の約3人に1人、男性の約5人に1人が配偶者から何らかの暴力を受けていることが明らかになるとともに、どこにも(だれにも)相談しなかった女性が約4割、男性が約7割にものぼっていることが明らかになっています。

被害者が早い時期に相談できるよう、身近な相談窓口を知らせることが DV 被害予防の第一歩と考え、DV に悩む女性が気軽に相談できるように「ストップ！ DV 運動」を実施し「DV のないまち・いせはら」の実現をめざします。

■ 運動の内容

目的やコストパフォーマンスを考慮した上で、直接ターゲット層に手渡せるポケットティッシュを作成し、DV 相談窓口を広く周知しました。

- ① DV 相談窓口のリーフレットを挟み込んだ「ストップ！ DV」ポケットティッシュを作成しました。
- ② いせはら男女共同参画フォーラムや国際ソロプチミスト伊勢原チャリティ講演会等で「ストップ！ DV」ポケットティッシュを配布し、DV 相談窓口を PRしました。
- ③ ポケットティッシュを市内の歯科医院や幼稚園などに配布して、相談窓口のPRを行いました。

■ 運動実施スケジュール

年 月 日	内 容
平成30年8月13日	市民協働事業提案企画書提出
8月31日	市民協働事業協定書締結
9月 1日	ポケットティッシュ・ポスターデザイン決定・発注
9月12日	ポケットティッシュ納品
10月15日	伊勢原道灌まつりで「ストップ！ DV」ティッシュの配布
平成31年3月 2日	いせはら男女共同参画フォーラムで「ストップ！ DV」ティッシュを配布
3月24日	国際ソロプチミスト伊勢原チャリティショーで「ストップ！ DV」ティッシュを配布 * その他、下記にポケットティッシュ配布協力を依頼した。 ・産能大学、向上高校、中央公民館、市内歯科医院や幼稚園など
4月30日	事業報告書提出

■ 運動実施経費

・ラベル印刷ポケットティッシュ作成費	
4,000個@4.9356	19,742円（ソロプチ分）
3,000個@4.9356	14,806円（市分）
・ラベルデザイン修正料（今回はデザイン修正なし）	0円
・事務費（振込手数料）	270円（ソロプチ分）
	34,818円

■ 業務分担

- ・提案者の国際ソロプチミスト伊勢原は、「ストップ！DV運動」に係る経費を負担し、運動内容の実践を担いました。
- ・伊勢原市は、「ストップ！DV運動」を実施するために、予算の範囲内で経費を負担し、必要な情報収集・提供と業務支援を担いました。

事業評価シート

段階	評価項目
準備段階	1. 協働が開始された段階はいつからか ☒企画の段階から ☐実施段階から ☐その他（ ） 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☐市民活動団体 ☐市 ☒その他（H25年度に実施した団体の勉強会がきっかけ） 3. 協働で行う意義は明確だったか ☒はい ☐いいえ 意義〔DV根絶に向けた活動に、女性団体が積極的に関わることで広く市民への周知に効果的である。〕 意義〔本市の観光施策に資する人材の育成により、観光振興の発展に大きく寄与する。〕 4. 事業の目的は明確だったか ☒はい ☐いいえ 目的〔DV相談窓口を広く周知（PR）することでDVの根絶を図る。〕 5. 事業の目標（何がどのような状態になることを意図しているか）は明確だったか ☒はい ☐いいえ 目標〔DV被害者が早いうちに相談することで深刻な事態になることを減らす。〕 6. 市民活動団体選定のプロセスは適切だったか ☒はい ☐いいえ 理由〔学習会をきっかけに発起した。〕 7. 相互理解は十分だったか ☒はい ☐いいえ 理由〔役員と職員が密に連絡調整を図った。〕
実施段階	8. 協定書作成にあたって十分協議したか ☐はい ☒いいえ 理由〔事業の目的や意義が明確だったため、協定書はそれを形にすることで十分であった。〕 9. 事業運営上の役割分担は適切だったか ☒はい ☐いいえ 理由〔事業展開がスムーズであった。〕 10. 進捗状況や情報を共有できたか ☒はい ☐いいえ 理由〔「報・連・相」につとめ事業進捗などの共有化を図った。〕 11. 実施プロセスの記録は残せたか ☒はい ☐いいえ 理由〔双方で事務処理等記録を行った。〕 12. 互いの特性を活かすことができたか ☒はい ☐いいえ 理由〔実働は団体で、裏方の準備・事務的なことは市職員が担った。〕
終了後の段階	13. 事業内容の報告を作り、公開できたか ☒はい ☐いいえ 理由〔 〕 14. 目的・目標は達成できたか ☒はい ☐いいえ 理由〔 〕 15. 今後の課題と改善策を話し合ったか ☒はい ☐いいえ 理由〔次の協働に向け、意見集約に努めた。〕 16. 総合的に見て事業に対する満足度は 【 5 ④ 3 2 1 】 理由〔少ない経費で効果的な事業となった。〕 17. その他、気づいた点